



博物館 入館者30万人を達成

花巻市博物館は5月24日、入館者数30万人を達成し、同館で記念セレモニーを行いました。

開館から10年1カ月での達成で、記念すべき30万人目の入館者は千葉市の会社員町田知佳さん。記念セレモニーでは市長とともにくす玉を割ったほか、30万人目の「入館の証」と記念品として市指定無形文化財の花巻傘が贈られました。

町田さんは「びっくりした。縄文と古代の展示が興味深かった。また違う季節に来たい」とうれしそうに話しました。



30万人目の入館者となった町田知佳さん(写真左)と市長がくす玉を割って祝いました

畑仕事で園児と触れ合い

「花巻市シニア大学ふれあい農場開き」が5月23日、南川原町の豊沢川河川敷で開かれました。

同大学の受講生202人と花巻幼稚園の年長児46人が参加。用意されたサツマイモの苗と一緒に植えながら楽しく触れ合いました。

苗の扱い方や土のかぶせ方を教わった園児たちは、「大きくなってね」と声を掛けながら一つ一つ丁寧に作業。受講生の皆さんは、園児たちの楽しそうに土をいじる姿に、目を細めていました。



サツマイモの苗と一緒に植える、シニア大学受講生と園児

スポーツ楽しみ世代間交流

NPO法人Sumはなまきが主催する「丸ごとSUMはなまき祭」が5月25日、総合体育館アネックスで開かれました。

スポーツなどを通じて、幅広い世代の市民交流を広げようと初めて開催されたもので、当日は、多くの親子連れなどが参加。同NPO法人スタッフの指導のもと、野球やサッカー、グラウンドゴルフなど、多彩な体験を通して、楽しみながら親睦を深めました。

館内は、子どもたちの笑顔と歓声で、明るい雰囲気になっていました。



frisbeeを使って的を射抜くストラックアウトを楽しむ子どもたち。会場に元気な歓声が響きました

稲で描く田んぼアート

「八幡田んぼアート」の田植え体験が6月1日、石鳥谷総合支所近くの水田で開かれました。

5周年を迎えた田んぼアートは、八幡まちづくり協議会が交流人口の拡大や地域活性化を目指して行っているもの。地域住民や県立大学生など約100人の参加者は、キャンバスに見立てた広さ約30坪の水田にフクロウの親子の絵柄が浮かび上がるように丁寧に稲の苗を植え付けました。

田んぼアートは、石鳥谷生涯学習会館の駐車場から見るができます。



参加者の皆さんは、丁寧に稲の苗を植えていました

活気に湧く商店街

「どてびっくり市 in 花巻」が5月25日、歩行者天国となった上町商店街通りで開かれました。

今回で22回目の開催となる同商店街の恒例行事には、市内外から35店が出店。食料品や衣料品のワゴンセール、農産物の直売のほか、沿岸市町から出店の海産物の販売もあり、集まった大勢の買い物客を楽しませていました。

会場ではこの他、花巻中学校吹奏楽部の皆さんが踊りを交えた演奏を披露し、イベントを盛り上げました。



大勢の買い物客でにぎわう「どてびっくり市 in 花巻」。商店街が活気にあふれました

防災への意識高める

花巻市消防演習が6月1日、市内で行われました。

市消防団員など約2300人が参加。上町を堂々と分列行進した後、朝日橋下流河川敷でポンプ操作や一斉放水訓練など統制のとれた動きを練り上げ、防災への意識を高めました。

同河川敷では、消防フェスティバルも開催され、大勢の親子連れなどが消防車の乗車や放水などを体験。楽しみながら、地域の安全を守る消防活動の大切さに理解を深めました。



①消防演習で消防団の皆さんが披露した一斉放水訓練②消防フェスティバルでは子どもたちが放水を体験しました